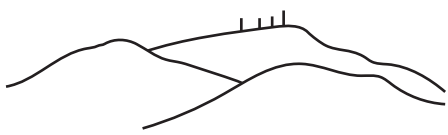


Youth Manna

2021/10/25 - 10/31



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2021/10/25(月)

ヨブ記 15:17-35

エリファズは昨日に引き続きヨブがこうなったのは傲慢だからだ(26)と決めつけて語っています。エリファズの語っている内容はヨブには当てはまらずヨブの慰めになりませんでした。

しかし闇(悪いこと)にずっといることを選び、欲のために賄賂を貰ったりして栄えても神様の裁きと介入が必ずある(30.34)という真理も実は語っていました。

●決めつけて話す前に聞く心が与えられるように祈ろう！！

●悪い人が栄えても腐らずに神様の時にくる介入を祈りつつ待とう！！

2021/10/26(火)

ヨブ記 16 章

ヨブは苦しみを友人に理解されず傷つくことを言われ、みじめだと言っています。(2) そんな中でヨブは神様が自分を攻めて自分の敵となったと感情をぶつけています(9) ヨブは苦しみの中で間違った神様の見方をしていけど、それでもまっすぐに神様に祈り続ける中で自分の潔白を証言してくれる天にいる方の存在が必要だと気付きます。(19.21) それは神様と私達との間に入ってとりなして下さるイエス様の存在でした。

●誰にも分かって貰えないとみじめに思う時、イエス様は理解してとりなして下さることを思い出そう！！

●ヨブのように神様にどんなことも祈ろう！！

2021/10/27(水)

ヨブ記 17 章

もし人が、あざけりや敵意の中で死んでいくのなら、それは本当に辛いことだね。ヨブのことばの中には、何を指して言っているのか分からないこともあるけれど、今日の箇所は、実はイエス様の苦難を預言的に語っている箇所でもあるんだ。

イエス様はあざけられ、多くの敵意を受け、友に裏切られ、笑いものにされ、顔に唾を吐きかけられ、そのイエス様の姿と重ねて読むと、イエス様の身代わりが何を意味しているか、僕らの心に迫ってくるものがあるね。

イエス様が私たちの代わりに苦しみを受け、よみにまで下られた方であることを覚えて感謝しよう。その恵みの大きさを思い巡らそう。

2021/10/28(木)

ヨブ記 18 章

今日の箇所もビルダデともめ続けているヨブ。

人と人が理解し合うのは本当に難しいことである。ことばを尽くしても理解してもらえず、分かり合おうと語れば語るほどことばの畏にはまり、感情的になってしまい、相容れないことがある。

ビルダデもヨブもそうである。互いに譲らず、正しいと思ったことを述べているが、実際ヨブに与えられている苦しみはサタンの仕業であり、神が許された試練である。理解し難いが、これも神様の考えの中の出来事であった。

私たちには神様の考えを全て理解することはできない。だからこそより神様を求め、神様の心に耳を傾けよう。

2021/10/29(金)

ヨブ記 19 章

あくまでも自分の言いたいことを押しつけてくる友人たちに、それはいじめだとヨブは言っているね。友人たちにそんなつもりはなかったかもしれないけど、相手のことを理解せず自分の意見をただ言うなら、相手を傷つける結果になることがある。21,22 節を読んで、自分だったらヨブにどう接するか考えてみよう。

ヨブは、自分と神様の間に立ってくれる仲裁者を求めているけれど、19 節でははっきりと信仰の告白をしている。もしイエス様の十字架がなければ、地球上の誰一人として神様のさばきに耐えることができない。今、イエス様の十字架によって贖われた自分であることを覚えて感謝し、他人をさばく誘惑から守られるように祈ろう。

2021/10/30(土)

ヨブ記 20 章

ツォファルが再度ヨブに語りかけているね。大変な中にあるヨブの深い心を理解することができず、苛立ちと一緒に彼のことに反発した。ヨブは自分の罪の結果から、苦しんでいるわけではないけどツォファルは自分の捉え方の間違いに気づくことができなかった。そんな、一方的な押し付けがヨブの心に届くだろうか…？

神様は私たちの得意不得意なところを全部きづいてくれる方！そんな神様のそばにいれるように、そして人々に愛を流していけるように祈ろう！

2021/10/31(日)

ヨブ記 21 章

「神は正義だ、悪者を罰せられる」と友人たちは主張してきたけれど、現実にはそのように見えないことがたくさん起こるとヨブは言っている。悪者なのに子孫が栄え、財産は溢れ、長寿を全うすることがあるのではないかと、と。

神様を信じて意味がないと思うことがあるだろうか。もし、この地上でのご利益のみに目を留めるなら、そう思うこともあるかもしれない。自分はなぜ神様を信じているのか、自問自答してみよう。

イエス様は私たちのために貧しさを選ばれ、十字架にいのちを献げられました。愛され、罪赦された者として、私たちはどう生きるべきだろうか。イエス様が人として、どのように歩まれたのかを思い出そう。イエス様の足跡に習う者(弟子)となろう！